

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル		
	論文の日本語タイトル	基底細胞癌に対する二期的手術の有用性	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCCQ8-7	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ IV ）	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID	2000124125	
	雑誌名	皮膚科の臨床	
	雑誌 ID		
	巻	41	
	号	13	
	ページ	2055-2058	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 1 ）	
	発行年月	1999	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	山田 聡	新潟大学皮膚科
	その他著者 1	竹之内辰也	
	その他著者 2	野本重敏	
	その他著者 3	伊藤雅章	
	その他著者 4	手塚匡哉	
	その他著者 5	兼子泰行	
	その他著者 6	勝海 薫	
	その他著者 7		
その他著者 8			

一次研究の 8項目	目的	基底細胞癌に対する二期的手術の有用性を検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング	日本の大学病院	
	対象者	顔面の基底細胞癌患者 27 例	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 1 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）	2～5mm マージンで外科的切除し、翌日に組織学的に断端確認、翌々日に再建	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	再発	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
レビューワー コメント	主な結果	最短 2 年 7 ヶ月、最長 9 年の経過観察で再発例なし。	
	結論	手術が 2 回に及ぶデメリットはあるが、術中迅速に比し断端確認が正確。再発例もなく、特別な手技も要さないことからは二期的手術は有用。	
	備考		
レビューワー コメント	レビューワー氏名	竹之内辰也	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（IV） 本邦では種々の理由から Mohs surgery の適用は難しい。それに代わる断端確認の方法としては、凍結切片による術中迅速か二期的手術になるが、その予後成績を評価した報告は少ない。例数が少なく症例集積研究ともいえるが、長期フォローしており、後ろ向きコホート研究に準ずるものと評価した。	